



今月の主な内容

- ◆ 園児たちの運動会・子どもたちの夏まつり P 2 ~ 3
- ◆ 更別村スーパービレッジ構想 P 4
- ◆ 村のわだい P 8 ~ 10
- ◆ 北海道応援大使プロジェクト P 11
- ◆ 村からのお知らせ P 12 ~ 13

表紙の風景

7月6日、更別幼稚園で運動会が行われ、園児は保護者が見守る中、かけっこやダンス、玉入れや紅白リレーを楽しみました。親子リレーでは保護者におんぶや抱っこをされ、喜ぶ園児たちの姿がありました。

子どもたちの夏まつり

7月12日に認定こども園上更別幼稚園七夕まつり、19日に更別幼稚園夏まつり、22日には上更別小学校で花火・あんどんまつりが行われました。保護者が準備した遊びコーナーや出店、また打ち上げ花火が用意され、子どもたちは元気いっぱい、笑顔いっぱいに夏のおまつりを楽しみました。

7/12 上更別幼稚園七夕まつり



7/19 更別幼稚園夏まつり



7/22 上更別小学校 花火・あんどんまつり



笑顔はじける！園児たちの運動会

7月6日に更別幼稚園運動会、7日にはどんぐり保育園生活と運動あそび会が行われました。園児たちは元気いっぱいに駆け回り、ときにはお友達と、そしてお父さん、お母さんと力を合わせて取り組み、笑顔いっぱいに。そのひたむきな姿に大人たちは大きな拍手を送っていました。



「心類大樹」広尾間「足寄」陸別小利別間」の整備促進を。その他11項目の要請を行い、いずれの要請にも前向きな回答をいただき、特に新更

letter from Takeshi

村長室 だより NO.92

多くの意見・要望を村政に！

子どもからお年寄りまで笑顔と笑い声があふれ、一人ひとりが輝く村

十勝圏活性化期成会夏期要請に参加

7月9日、十勝圏活性化推進期成会夏期要請活動(地元要請)に会長の米沢帯広市長、副会長の浜田新得町長、飯田壽別町長とともに参加しました。

はじめに帯広開発建設部で、時岡部長、寛重次長(総務担当)、高野次長(河川・道路担当)、小野次長(農業担当)他12名の皆さんと面談。①物価高騰に対する継続支援と経営安定対策、燃料価格や物価の高騰が続く中、基幹産業である農業分野では営農の継続が危ぶまれる程の影響が出ています。農業分野をはじめ、各分野において必要な対策の継続を。②生産性の高い農業基盤整備とスマート農業の推進、国営かんがい排水事業については、昨年と同じく6地区を記載。引き続き、予算の確保と事業の推進を。③「北海道横断自動車道」「帯広・広尾自動車道」の早期完成、重点要望である、「中野大樹」広尾間「足寄」陸別小利別間」の整備促進を。その他11項目の要請を行い、いずれの要請にも前向きな回答をいただき、特に新更

～子どもからお年寄りまで 笑顔と笑い声があふれ、 一人ひとりが輝く村～

別国営かんばい事業着手についてのお礼と引き続き事業推進を重ねてお願いしてきました。続いて農政事務所帯広拠点では、田中地方参事官、坂田総括農政推進官と面談。①物価高騰に対する継続支援、特に厳しい酪農・畜産に対して飼料価格の安定化に資する対策を強化・実施し、政府の物価高騰対策を一部継続する旨の発表の通り、必要な対策の継続を。②農業王国十勝の発展と次世代対策の充実、生乳の生産抑制が続く経営に影響が出ている酪農家に対し、国産チーズの消費拡大など、長期的な需要確保に向けた対策を。③農業基盤整備・スマート農業の推進、国際化の進展に対応し、ICTやAIを活用したスマート農業の加速化。農業機械や運搬機械の大型化に即応した狹隘道路、橋梁の拡幅整備などに必要な予算の確保を、と申し入れを行いました。田中参事官からは、このほど改正となった「食料・農業・農村基本法」の説明があり、基本計画や関連法案の法令化への今後のスケジュールについて話を伺いました。最後に十勝総合振興局では、野口局長と新山教育局長と面談し、①気候変動や大規模地震を見据えた治水・砂防対策の推進、近年、激甚化している気象災害に対応するための「流域治水」の強化・推進。日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波対策が急務であること。積雪寒冷地特有の課題を踏まえた総合的な対策と避難施設等の整備での地域の実情を勘案した弾力的運用。②教育環境の整備促進と地域社会との連携、GIGAスクール構想でのタブレットなどの機器の更新や維持管理にかかる経費の国庫補助制度の創設。③デジタル化施策と地方創生の推進、行政のDX化に対する支援制度が不十分であることなど、関連する12項目について要望しました。

コミナス通信 vol.26

2022年から村に移住し、村が掲げる“100歳までワクワク働けてしまう奇跡の農村”を作るべく、高齢者の方々の“楽しい”や“嬉しい”の瞬間をご一緒にしています！コミュニティナース(以下「コミナス」という。)は医療資格に関わらず、暮らしの中で誰もが誰かの元気を応援できるつながりを“つくります”。

サンデーズカフェを開催しました

6月29日(土)に「サンデーズカフェ」を開催しました。今回は、西上、今村が研修で沖縄に行ったこと、診療所山田康介所長の後輩で北海道家庭医療学センター専攻医の前田和俊医師(沖縄県出身)のご協力のもと、『沖縄』をテーマに開催しました。コーヒーの他に村民の方と手作りした沖縄のお菓子「ちんびん」や「シークワサージュース」も提供。オカリナサークルピナスの皆さんの素敵な演奏もあり、70名近くの方にお集まり頂きました。



●問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎ 52-5252

コミュニティナースが住民のみなさんと関係づくりを進めています。



さら前の花壇が完成しました

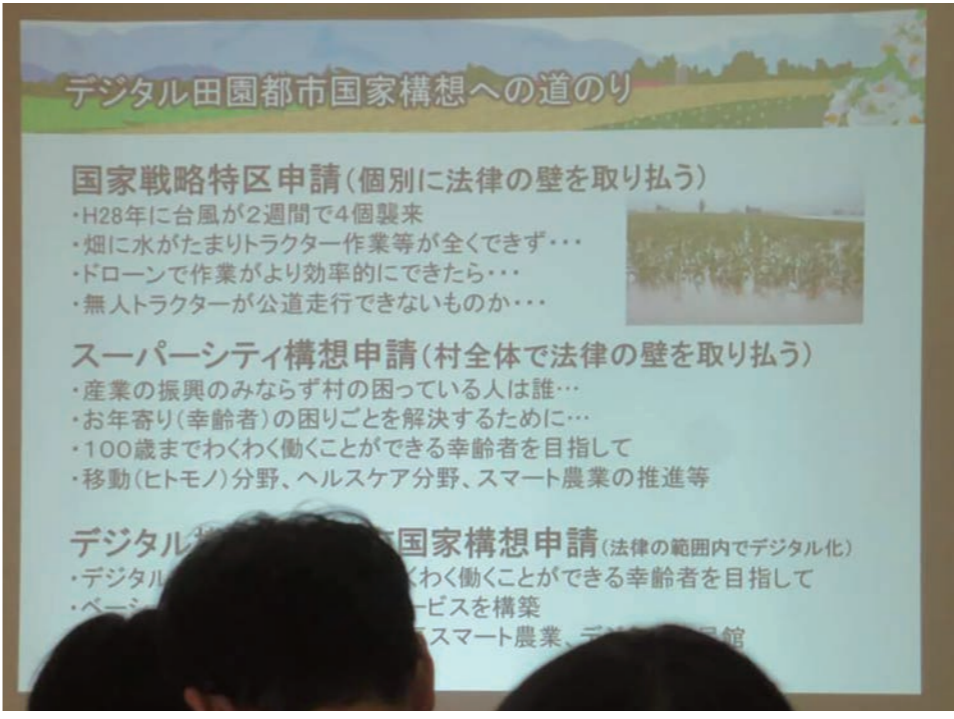
6月28日(金)に更別農業高等学校、村民さん、サテライトオフィスにお勤めの皆さん、役場職員の方々とサテライトオフィス「さら前」の花植えを行いました。更別農業高等学校の皆さんがお花の配置を考えてくださり、素敵な花壇が完成しました。現在、村民の方から頂いたミニひまわりと共にお世話しています。ぜひ、ご覧ください。

(株) CNC 更別事業所 ☎ 070-7568-2493

超なまら本気スマート農業

◆ロボット実証実験に視察が来ています

スーパービレッジ構想における超なまら本気スマート農業の取組事業『ロボットトラクター(ロボットラ)による無人走行での実証実験』が、ふるさと館横旧試験ほ場で行われています。今年も道内外からの農業者やJA、農業関係機関や企業の方などさまざまな方面の皆さんからの視察を受け入れています。視察では、更別村スーパービレッジ構想の概要や推進状況を説明のほか、ロボットラの実証実験を視察。ロボットラのタブレットへのほ場の登録方法や、ロボットラの動きなどを確認、また、実際に運転席に乗り自動で動くロボットラに感心する様子が見られました。8月以降も予定されています。

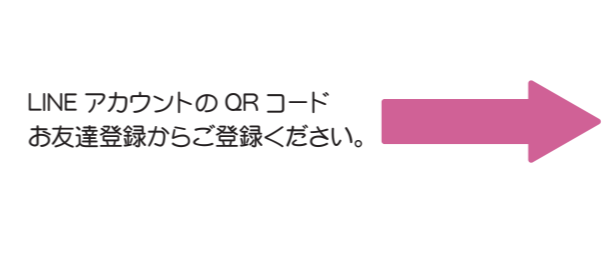


●超なまら本気スマート農業に関する問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室
☎ 52-5252

ひやくワクサービス

◆合同会社 LINE アカウント開設

ひやくワクサービスを運営する Social Knowledge Bank合同会社(ソーシャルナレッジバンク)のLINEアカウントが開設されました。ひやくワクサービス会員以外の方も友達登録することで、お知らせが届きます。ぜひお友達に登録ください。なお、お困りごとなどがありましたら、LINEでご質問いただくことで、担当よりご連絡させていただきます。



- ひやくワクサイトに関する問い合わせ
Social Knowledge Bank合同会社(ソーシャルナレッジバンク)
☎ 65-0366 ☎ 070-8916-6420
- このページの問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室
☎ 52-5252

児童扶養手当・特別児童扶養手当のお知らせ

児童扶養手当とは

父母の離婚などで、父または母と生計を同じくしていない子どもが養育される家庭(ひとり親家庭)の生活の安定と自立の促進、また、子どもの福祉の増進を図ることを目的に支給される手当です(支給には要件や所得制限があります)。

●支給月について

支給月は奇数月となります(年6回、支給月の前2か月分)。

【令和6年の支給月一覧】

支給月	支給対象月
1月	11月～12月分
3月	1月～2月分
5月	3月～4月分
7月	5月～6月分
9月	7月～8月分
11月	9月～10月分

●手続きについて

手当を受けるには、必要書類を提出し、北海道知事の認定を受ける必要があります。申請方法については、子育て応援課へお問合せください。

●現況届について

8月は児童扶養手当現況届の提出月です。該当する方には郵送でご案内します。提出がない場合には手当の一部または全部が停止される場合がありますので、ご注意ください。

特別児童扶養手当とは

精神または身体に障がいがある子どもを監護、養育している家庭に対し、子どもの福祉の増進を図ることを目的に支給される手当です。

●受給資格者

精神または身体に障がいがある20歳未満の子どもを育てている父若しくは母または父母にかわって児童を養育している方です。※ただし、子どもが施設に入所している場合や障がいによる年金を受給できる場合は、手当を受けることができません。

●支給月について

支給月は、4月、8月、11月の年3回です。

●支給額について

手当の額は障がいの障がい等級と人数に応じて支給されます。なお、受給資格者や受給資格者と生計を同じくしている方の前年の所得が一定額以上である場合は、その年度の手当の全部の支給が停止されます。

●手続きについて

手当を受けるには、児童扶養手当同様に、必要書類を提出し、北海道知事の認定を受ける必要があります。申請方法については、子育て応援課へお問合せください。

●所得状況届について

8月～9月は所得状況届の提出月です。該当する方には郵送にてご案内します。

等級	一人あたりの 手当額(月額)
1級	55,350円
2級	36,860円

●児童扶養手当・特別児童扶養手当 申請・問い合わせ

子育て応援課子育て応援係

(福祉の里総合センター内)

☎53・3700



おたふくかぜ 予防接種について



おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)は、ムンプスウイルスにより感染し、潜伏期間は2～3週間で、発熱や頭痛、耳下腺の腫れなどの症状がでます。

腫れは7～10日で軽快しますが、無菌性髄膜炎、精巣炎、卵巣炎などの合併症や、難聴などの後遺症により日常生活に影響を及ぼすことがあります。おたふく難聴にかかると治療法がないため、予防接種で免疫をつけておくことが重要です。任意接種になりますが、村で費用助成をしていますので、積極的な接種をおすすめします。特に小学生の方に接種忘れが多く見られますので、今一度、母子健康手帳をご確認ください。

◆対象者は1歳から12歳(小学6年生まで)の村民
◆接種回数は2回(1回目から2～4年あける)。推奨されるスケジュールは、1歳で1回目、就学前の1年間で2回目を接種。

◆予約先
国保診療所 ☎52-2301
※3日前の月曜日までに予約。

接種日は
毎週木曜日
13:30-14:00
16:00-16:30

●問い合わせ
子育て応援課母子保健係 ☎53-3700

「経営継承」をお考えの 経営主の方は お早目に農業委員会へ相談を

農業経営を後継者や第三者へ継承するときには、農地の処分(売買・贈与・賃貸借・使用貸借など)が必要です。

農地を処分するには、農地法の許可や借入している農地の解約・利用権の移転などの手続きが必要で、準備に時間を要します。

また、農業者年金新制度の特例付加年金の受給には、旧制度の経営移譲年金と異なり経営の継承年齢に期限はありませんが、新しい経営主へのスムーズな経営継承を行うためにも、お早めに農業委員会へご相談ください。



●問い合わせ
農業委員会事務局 ☎52-2116

更別村文化賞・スポーツ賞等 候補者の推薦について

教育委員会事務局では、皆さんから推薦のあった個人や団体へ文化賞・スポーツ賞などを贈り、功績を讃えています。皆さんからの推薦をお待ちしています。

●表彰内容

- ◆文化賞・スポーツ賞
文化・スポーツの向上発展に、特に功績が顕著であると認められる個人や団体
- ◆文化奨励賞・スポーツ奨励賞
各種団体の育成普及推進に寄与した方や大会などでの成績が優秀と認められる個人や団体

●推薦対象期間(大会等の成績や評価)

令和5年10月1日～令和6年9月30日

●受賞候補者の推薦

9月5日(木)までに「文化賞・スポーツ賞等候補者推薦書」を教育委員会事務局まで提出してください。
※推薦書は同事務局に用意しています。

●問い合わせ
教育委員会社会教育係 ☎52-3171

総合誌「さらべつ」の 原稿を募集しています

毎年3月に発行している総合誌「さらべつ」の原稿を9月30日(月)まで募集中です。

●応募資格

- ・更別村に住んでいる方
- ・過去に更別村に住んでいた方
- ・更別村にゆかりのある方



●募集作品

- ・提言、論説、文芸作品(小説、詩、俳句、随筆)
- ・芸術作品(書道、絵画、写真など)
- ・腕自慢(農作物、家畜、手作り品など)
- ・更別にまつわるお話(昔話、回顧録、歴史など)
- ・その他(旅行記、生活記録など)

※文面以外の作品は写真での出展となります。

※短い文章、旅行記、随筆などでもかまいません。

●応募方法

原稿は教育委員会事務局指定の原稿用紙またはワードなどのデータで、住所・氏名を明記し、ペンネームの場合はその旨を付記して提出ください。

※原稿は返却することができませんので、あらかじめご了承ください。



7/3 国際教育を学ぶ
小中学生が留学生と交流

高校生の交換留学を手がけている公益財団法人 AFS 日本協会十勝支部の声かけで、フランスとアメリカから十勝の高校へ留学している2名の高校生が村の小中学校を訪問。更別小学校では、お互いに住んでいるまちなどを紹介したあと、フルーツバスケットで交流しました。



7/16 とときめき夢民塾
夢民講座 2024 夏季開講

毎年開催されている夢民講座に、今年は新たに『JICA 世界旅行体験コース』が加わり6名が参加。第1回目は『カラフル刺しゅうでパラグアイ気分“マテ茶と共に”』と題した刺しゅう体験が行われ、真剣に、そして楽しみながら取り組む姿がありました。

7/12 夏の夜に大盛況
商工会青年部ビアガーデン

役場前駐車場を会場に商工会青年部（為広拓部長）による『商工会青年部ビアガーデン』が行われました。当日は、心地よい気温の中、今年初めてのおまつりに村内外から多くの方が来場。商工会青年部の出店のほか、JAさらべつ青年部が初出店し、創立50周年記念で開発したクラフトビール『さらべつふるえる』を販売。また、さらべつ産業振興公社が焼き鳥やいも団子などを販売し、3台のキッチンカーが出店するなど、賑わいをみせました。また、ビアガーデン最後のメインイベント『お楽しみ抽選会』は盛り上がりました。為広部長は「初出店いただいたところもあり、皆さんにご協力いただき、今日が迎えられました。ありがとうございます」とお礼のあいさつを述べました。



7/1 犯罪や非行のない社会に
社会を明るくする運動

犯罪や非行の防止、更生への理解を深めるため、毎年7月は社会を明るくする運動強化月間と指定されています。この日、広尾地区保護司会更別村分区分の藤原正俊分区分長ほか3名の保護司が役場を訪れ、西山村長に運動強化月間への理解を求め、依頼文などを手渡しました。



7/4 留守番の注意事項を学習
小学校で防犯教室が実施

上更別小学校では、(株) ALSOK 北海道による防犯教室が行われ全校生徒が学びました。防犯教室のテーマは『留守番』。留守番をするときの注意事項を5点の観点から教えてもらい、また災害時の対応として災害伝言ダイヤルの体験をしました。



7月8日、更別中央中学校で「一日防災学校」が開催されました。避難訓練を全学年で実施後、2年生はとちほく広域消防局更別消防署職員による救命講習を体育館で受講し、3年生はサバイバルクッキングとして栄養教諭のサポートのもと調理室でポリ袋に材料を入れ湯せんでの調理を体験、1年生は体育館で村職員の説明と赤十字奉仕団のサポートのもと避難所用テントとベッドの組み立て体験や新聞スリッパ作成、非常食の試食など避難所設置について学びました。避難所設置体験には赤十字奉仕団のほか、シルバーハウジング入居者も数名参加し、中学生とグループに分かれてテント設置など協力しました。松野七星さんが「今日は災害や村の避難所の場所、また避難所設置について学ぶことができて勉強になりました。学んだことを生かしたいと思います。ありがとうございました」とお礼を述べました。

村のわだい 11 days VILLAGE TOPICS



6/28 更別産小麦の良さを広めよう
うどん早食い大会開催

ふるさと館では年明けに続き3回目の「うどん早食い大会」が行われ15名が参加しました。リタイヤ者続出の前回大会の結果を踏まえて少し量を減らし『さらべつむらのなまうどん』のざるうどん0.9キ口。5名ずつ3組に分かれ、目の前のうどんに果敢に挑戦。食べきったタイムで競い合い、制限時間10分以内に完食する方が多く見られました。優勝は、前回大会で優勝した高橋清美さんが連覇。1分04秒の速さで完食し、会場を盛り上げました。



6/28 力を合わせて更別農高づくりを
学校運営協議会発足

更別農業高等学校は、高校の存続や間口数を堅持するため、村の特色である「農業」と「食」と「福祉」を中軸に景観や自然、文化、人とのふれあいやその資源、魅力を活かした貴重な教育的価値による差別化や魅力化について地域の方や高校の各種事業へ協力している企業などによる学校運営協議会をこの日発足、コミュニティ・スクールの取組を開始しました。会長に選出されたJAさらべつ梶浦組合長は「地域としてできる限り応援していきたい」とあいさつしました。

7/5 B・Bとファイターズガールが子どもたちと交流

十勝管内市町村で『ファイターズサマーデイズ in 十勝』イベントの一環でファイターズガールの竹市琴美さんとファイターズマスコットキャラクターB・Bが、認定こども園上更別幼稚園を訪問。園児とふれあい交流が実施されました。

B・Bのクイズやピアノ演奏、ストラックアウトなどが行われ、園児が元気よくB・Bとハイタッチする様子もありました。



開催されました!
2024年は十勝総合振興局管内19市町村を対象に『北海道応援大使プロジェクト』が展開されています。実施された事業をご紹介します。

7/14 北海道日本ハムファイターズ応援バスツアー開催

北海道日本ハムファイターズさらべつ後援会主催により、北海道応援大使プロジェクトの一環でエスコフィールド HOKKAIDO でファイターズ戦を観戦する日帰り応援バスツアーが実施され、会員・家族および一般公募の村民もあわせ、合計41名が参加しました。

バスツアーでは、バス車内でさらべつ後援会恒例のグッズ争奪じゃんけん大会が行われ、到着後は練習見学と応援大使プロジェクトメニューのファイターズマスコットキャラクターB・Bとの集合写真撮影、午後1時から北海道日本ハムファイターズ対ソフトバンクホークス戦を観戦しました。

試合は、3対1で北海道日本ハムファイターズが勝利しました。この日はヒーロー賞も更別村特産品で、メイクイン90kgが3人のヒーローに贈られる予定です。



●問い合わせ
更別村企画政策課
地域開発係 ☎ 52-2114



7/19 今後の進路について考える高校生がインターンシップ

更別農業高等学校生が進路について考えるきっかけとするため、5月末に4日間のインターンシップを体験。成果報告会では生徒がそれぞれ実習先ごとに発表し、仕事内容のほか、仕事をして感じたことやあいさつの大切さなど学んだ内容を発表。村図書室で実習をした増地早佳江さんは「本の分類方法など知らなかったことを学ぶことができました。本の好きな方は一度行ってみたい」と紹介しました。なお、今年度、村内では7事業所が受け入れを実施しています。

7/21 今年はメニューを増やして開催ふれあい広場 2024

老人保健福祉センターを会場に社会福祉協議会主催の「ふれあい広場 2024 さらべつ」が開催。昨年4年ぶりに8月開催で再開されたふれあい広場は、今年は7月中旬の開催で実施されカフェゆーゆ、ぱくりっこ図書館、クローバーモアのドーナツ販売、サッチャル館やハンドメイドサークルの手作り品販売のほか、クッションカバーづくり、アロマハンドマッサージ、モルック体験、学童のおやつやさん、昔遊びコーナー、ふまねっと体験、更別農業高等学校によるレトルトカレーのさらのうキーマ販売や、新たな試みとして実施された駐車場を利用したとかち広域消防局更別消防署による救急車と消防車の乗車体験に、水を入れた消火器での消火体験など、盛りだくさんの内容となりました。またキッチンカー2台と子ども縁日の出店もあり、来場者を楽しませました。



7/18 恒久平和を願い戦没者追悼式を開催

戦没者の在りし日を思い浮かべ、ご冥福を祈るとともに恒久平和の誓いを新たにすため、村戦没者追悼式が行われました。西山村長が式辞で戦没者への追悼と今後の平和への誓いを述べ、村遺族会佐藤義典会長が「悲惨な戦争が繰り返されないよう願い、豊かな郷土の発展に尽くします」と追悼の意を述べました。続いて、48柱の戦没者へ献花が送られました。追悼式後は、更別神社境内の殉国碑前を会場に村遺族会主催の慰霊祭が行われました。



村からのお知らせ

Information from the Village



各種アイコンの説明

📣 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

📅 とき 📍 場所 🎯 対象 💰 料金
📄 定員 📝 申し込み 📞 問い合わせ
☎ 電話番号 📠 ファクス 📧 メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。
※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

アイヌの方の 相談専用ダイヤル

公益財団法人人権教育啓発推進センターでは、アイヌの方々の悩みをお受けするフリーダイヤルを開設しています。嫌がらせ、差別、プライバシー侵害などのご相談もお受けしますので、お気軽にご相談ください。

● 受付時間
月曜日～金曜日
(祝日、年末年始除く)
9時～17時
● 相談専用ダイヤル
☎ 0120-771-2008
※相談無料、匿名可、秘密厳守です。来訪によるご相談の場合は、ご予約ください。
☎ 公益財団法人人権教育啓発推進センター
☎ 03-5777-1802

検査内容が充実 協会けんぽの健診

協会けんぽでは、年一回、加入者の皆さんの健診費用の一部を助成しています。35歳から74歳の被保険者(本人)と、40歳から74歳の被扶養者(ご家族)を多対象に実施しています。充実した検査項目ですので、ご利用ください。
☎ 全国健康保険協会
(協会けんぽ北海道支部)
☎ 011-726-0352

募集

北海道障害者職業 能力開発校生徒募集

北海道障害者職業能力開発校では、令和7年度訓練生を募集しています。
訓練科目は建築デザイン科、CAD機械科、総合ビジネス科、プログラム設計科、総合実務科です。詳しくはお問い合わせください。
☎ 10月1日(火)～21日(月) 選考日11月5日(火)
☎ 北海道障害者職業能力開発校(砂川市焼山60番地)

● 試験内容
数学、国語、面接
※最寄りのハローワークまたは左記までお問い合わせください。
☎ 0125-52-2774

北海道障害者職業能力開発校

国民年金

国民年金保険料は 口座振替がお得です!

国民年金保険料の納付には、口座振替が利用できます。忙

お知らせ

家畜商講習会を 開催します

北海道による家畜商講習会が開催されます。講習を修了することで家畜商免許を取得できます。詳しくは産業課へお問い合わせください。
☎ 11月7日(木)・8日(金)
9時00分～17時30分
☎ 北海道庁別館地下1階
大会議室(札幌市)
☎ 家畜取引業務(売買・交換・あっせん)に従事しようとする方
☎ 10月11日(金)まで
● 講習手続
所定の願書(北海道のホームページ)からダウンロードするか、十勝総合振興局から取り寄せ)を提出ください。
● その他
獣医師免許などの免許を所有する方は、一部講習が免除されます。
☎ 産業課農業振興係
☎ 52-2115

農作業に 注意しましょう

繁忙期の農作業は、慣れた作業でも疲労の蓄積などで注意力が低下し、事故が起こり

やすくなります。次の注意点を意識し、農作業事故を起こさないようにしましょう。
* 適度な休憩や体調管理に注意しましょう。
* お互いに声をかけあいながら農作業を行いましょう。
☎ 更別村農業経営・生産対策推進会議農業安全運動推進部(産業課農業振興係)
☎ 52-2115

クールスポットを 開設しています

村では、熱中症による健康被害防止のため、一部公共施設を「クールスポット」として開放しています。
● 開放施設
社会福祉センター
開放期間 8月30日(金)まで
(利用時間は9時～17時)
※ 注意事項
・ 飲料は各自用意ください。
・ ゴミは各自で持ち帰ってください。
・ 体調が悪いときは、施設管理人または職員までお声かけください。
※ その他
老人保険福祉センター(福祉の里温泉口ビル)も休憩場所としてご利用いただけます。
☎ 住民生活課住民生活係
☎ 52-2112

借金・金融一般相談会 開催

北海道財務局主催の「借金・金融一般相談会(帯広会場)」を開催します。無料・予約不要です(秘密厳守)。
☎ 8月23日(金)
9時00分～12時00分
☎ 帯広第2地方合同庁舎(帯広市西5条南8丁目)
☎ 北海道財務局相談員
☎ 011-807-5144

税金

納期限のお知らせ

村・道民税第2期と国民健康保険税第2期の納期限は、9月2日(月)です。
納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。
☎ 住民生活課税務係
☎ 52-2112



村ホームページ『福祉の里温泉』はこちら➡

福祉の里温泉をご利用ください!

◆9月1日(日) 開村記念日 温泉無料開放

福祉の里温泉は9月1日(日)の開村記念日に無料でご利用できます。

*対象
村内外すべての方

*開館時間
13時00分～22時00分(最終受付21時00分)

*利用方法
受付にて利用受付簿への記入をお願いします。

●問い合わせ 保健福祉課福祉係 ☎ 53-3000



更農祭を終えて
生徒会顧問

7月12日(金)、13日(土)に更農祭が開催されました。当日は天候にも恵まれ、暑すぎるほどの気温でしたが、この暑さにも負けないくらい生徒も盛り上がりました。今年度生徒会は、「勇往邁進!!」をテーマに見せろ!みんなの良さを!」をテーマにしました。勇往邁進とは勇み立ち、まっしぐらに進むという意味で、自分の目指すものに向かって、臆することなく一心に突き進んでいくことです。一人ひとりが個性を持ち、みんなの良さが一同に発揮される学校祭となるように、このテーマにしました。

1日目の午前中は、オープニングセレモニーや学校紹介CMの上映、パフォーマンスが実施されました。学校紹介CMでは各クラスオリジナルティ溢るような、このテーマにしました。

一般来場された保護者、更別村の方々のおかげをもちまして、無事に学校祭を開催することができました。皆さまに厚くお礼申し上げます。

れる学校の紹介を行い、パフォーマンスでは、各クラスで様々な形のパフォーマンスが行われました。どのクラスも練習の成果を十分に発揮し、とても盛り上がりました。

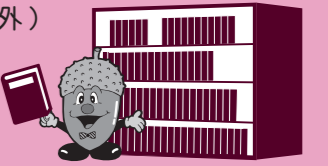
2日目は、各分会と1学年が企画、生産した加工品を販売したり、PTAによる焼き鳥と焼きそばなどが販売されました。バザーの当日券などもほとんど売り切れるほど盛況で生徒や来場者の方々のみなさんに楽しんでいただけたと感じています。また、お忙しいところ、バザーでお手伝いいただきました保護者の方々には本当に感謝しております。

更別農業高校 ニュース

更別村農村環境改善センター図書室だより

本ごよみ

開館時間 9時30分～18時00分
休館日 火曜日および祝日(日・月・土以外)
住所 更別村字更別南2線96番地11
農村環境改善センター内
電話 52-3171



今月の展示

- 一般書コーナー
『祝! 甲子園球場 100周年』
- 児童書コーナー
『なつのえほん』
『はなびのえほん』



親子読みきかせマラソン

図書室では未就学児のお子さんを対象とした親子読み聞かせマラソンの参加者を募集しています。お申し込みは随時受け付けていますので、詳しくは図書室カウンターまで。皆さんの挑戦をお待ちしています。

今月の読みきかせ

- 8月17日(土) 11時00分～11時30分
- 『BIG HERO 6 (ベイマックス)』
(英語で読みきかせをします)
 - 『おおきくなりすぎちゃったじゃがくん』



行政区会館の机・イスを購入しました

村では、令和6年度から令和9年度にかけて、行政区会館の机とイスの購入・配置を実施します。今年度は旭区・平和区・北更別区の机とイスを、一般社団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献事業『コミュニティ助成事業』を活用し購入しました。その他の行政区は令和7～9年度で配置を予定し、同助成事業の活用を検討しています。



『コミュニティ助成事業』とは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全の地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や国際化の推進および活力ある地域づくり等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業です。

●問い合わせ 住民生活課住民生活係 ☎52-2112

新着図書案内

えほん



今月のおすすめ本
『<標本>の発見
科博コレクションから』
出版 国書刊行会
国立科学博物館の企画展を書籍化。約500万点から厳選された標本を紹介する一冊。

アソリくん、どうぶつだいすき (エディット)	妖怪オノマトペ (石津 ちひろ)	もぢやんのおきたほ(たかどの ほつこ)	王さま (レーベンサール)	チヨコレートの(マイケル)	飼育員さんもおしえて! (池田 菜津美)	アザラシのみみ	あめのちゆうやけせんたくかあちゃん(まこう わきこ)	グリムどうわ (エリック・カール)	飼育員さんもおしえて! (池田 菜津美)	ペンギンののみみ	じゅんばんじゅんばん (acoloroto)	じゅんばんじゅんばん	なんのおこ?	トホトホ (横山 裕一)
------------------------	------------------	---------------------	---------------	---------------	----------------------	---------	----------------------------	-------------------	----------------------	----------	------------------------	------------	--------	--------------

児童文学・学習書ほか

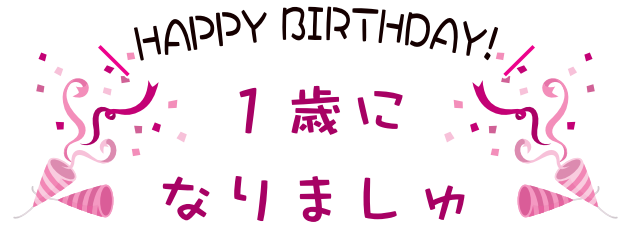
文学・一般書

釣つて食べて調べる (平坂 寛)	はじめてました! (清水 晴木)	トロベツキユーカ、(おくやま ゆか)	あいたくてたまらない (おくやま ゆか)	さかのうえのねこ(ごとう みく)	深海魚	日本プロ野球の歴史 (菅谷 齊)	ギネス世界記録 (クレイク 2024) (グレンディー)	魔女の後悔 (大沢 在昌)	日本史700事典 (平凡社)	47都道府県老舗百科 (青山 和正 他)	47都道府県大相撲力士百科 (京須 利敏 他)	ポケット特殊印刷図鑑 ひきだし(編集部)	世界の冠婚葬祭事典 (川田 牧人)	定食屋「雑」 (原田 ひ香)	ゆづびんの父 (門井 慶喜)	ポケット (デザイン)	フェスタ (馳 星周)	板上に咲く (原田 マハ)	あいにあなたのためじゃない(柚木 麻子)	ローリータ (嶽本 野ばら)	・ファッション (嶽本 野ばら)
------------------	------------------	--------------------	----------------------	------------------	-----	------------------	------------------------------	---------------	----------------	----------------------	-------------------------	----------------------	-------------------	----------------	----------------	-------------	-------------	---------------	----------------------	----------------	------------------

戸籍の窓口

誕生おめでとう

お悔み申し上げます



地域安全ニュース

■更別村の交通死亡事故死ゼロ記録

2,227日(7月31日現在)

■地域安全運動のお知らせ

『夏休みやお盆の長距離運転にご注意を』

夏休みの家族旅行など、長距離運転をされる方も多いと思います。

長距離運転をするときは、「渋滞情報を確認し時間に余裕を持つ」、「2時間に1度は休憩を取る」、「速度や車間距離に注意し無理のない運転をする」などを心がけ楽しい休日にししましょう。

防災さらべつメール

防災行政無線の内容をメールで配信
QRコードを読み取るか下記にアクセスください
<https://plus.sugumail.com/usr/sarabetsu/home>



北海道 更別村

Facebook&Instagram

QRコードを読み取って
フォローをしてみよう!



9/8~9/14の期間中 救命講習を開催します!

とちか広域消防事務組合更別消防署では、毎年救急医療週間にあわせて救命講習を実施しています。今年は、9月8日(日)から14日(土)に実施しますので、参加希望の方はお申し込みください。

コース種類	内容
①平日の夜(18:00~19:30) 救命入門コース(90分)	胸骨圧迫とAED講習
②土日の午前(9:00~12:00) 普通救命講習I(180分)	救命入門コースに加えて、止血の方法・のど詰まりの対処法講習



- 受講資格 村内在住の方、村内に通勤・通学されている方(満10歳以上)
- 受講料 無料
- 申込期限 9月2日(月) ※災害対応などの場合は中止となります。
- 申込・問い合わせ とちか広域消防事務組合更別消防署警防係 ☎52-2201

救急医療週間以外にも、受講者の要望に合わせてさまざまなコースを用意しています。受講申し込みの際にご相談ください!

人の動き

2024年7月1日現在

※()内の数字は前月比

総人口 3,084人 (±0人)

男性 1,517人 (±0人)

女性 1,567人 (±0人)

世帯数 1,364世帯 (+5世帯)

